

# 小山田小

2024年4月30日

2号

町田市立小山田小学校

校長 小澤 新也

042(797)1824

<http://www.machida-ty.jp/e-oyamada/>

## 学びの景色がかわっていく タブレットのある教室

校長 小澤 新也

3年生の教室をのぞいてみると、タブレットを開いて Google Map の画面を食い入るように見ている子どもたちの姿がありました。3年生から始まった社会科の学習です。身近な地域や町田市について、まずは位置や地形、土地の使われ方や交通の広がり学びます。その学習に大いに役立つのが Google Map です。URL は担任から配付されているので、ワンクリックで小山田小学校付近の地図が浮かび上がります。そこから子どもたちは、検索やストリートビューの機能を使って、自宅までバーチャルで歩いてみたり、公園などの公共施設や気になる場所を探したりしていました。

昨年7月に市内全校を対象に実施した町田市教育委員会の調査では、小山田小は全学年を通して「週3日以上タブレットを使って学習している」と答えた児童の割合が上位に入っていました。ドリルソフトの活用はもちろん、「タブレットのドキュメント、スライド、スプレッドシート、ジャムボード等の機能を目的に合わせて使うことができる」や5・6年生に限ったことですが「デジタル教科書を自分のタブレットで使った」についても、肯定的な回答をした児童の割合が高かったです。

学習する際にタブレットを使うと、どんないいことがあるかと4～6年生に聞いてみると、以下のような答えが返ってきました。

- ・気になったことや分からないことをすぐに調べることができる。(検索機能)
- ・自分の考えを打ち込むと、みんなの打ち込んだ考えを見比べることができる。(協同学習・共同編集機能)
- ・単元のまとめで、わかったことをスライドショーにまとめるのが楽しい。(プレゼンテーション機能)
- ・作ったスライドショーを見合うことができる。(共有機能)
- ・学校行事でも活用できる。(発表機能)
- ・Qubina(ドリルソフト)を使うと、正解かどうかすぐわかる。間違えたところを直しやすい。何度もやりたくなる。(学習意欲を高める機能)

発達段階に応じて、全ての学年でタブレットを使った授業に取り組んでいます。一斉指導でソフトの使い方や機能を紹介しますが、子どもたちからも新しい機能を見つけ、活用の幅が広がる提案が中学年の子供たちからも多々あります。高学年では自ら学びを豊かにするために、先生の指示の有無にかかわらず、子どもが必要に応じてタブレットを選択して進める場面も出てきています。

本校では、タブレットを使う場面や使い方を教師が限定するのではなく、まずは道具として気軽に扱ってみようというスタンスで進めています。もちろん、情報モラルや個人情報の保護などについても確実に指導しますが、この点についてはご家庭でも注意を払っていただけたらと思います。

低学年児童については、タブレットの重さでご迷惑をおかけしています。持ち帰りについては他の持ち物とのバランスを取りながら、配慮していきます。

大型連休が終わった5月11日(土)は、学校公開日です。全ての学年で、タブレットを使った授業もお見せします。ぜひ、ご来校ください。

